

すべての人が暮らしやすいまちに

～ 障害者差別をなくすための千葉県条例からみえてくること～

講師 野沢和弘氏 毎日新聞社 夕刊編集部長

差別・偏見・心のバリアをなくして

理不尽な理由で辛く悲しい思いをし、生きにくさを抱えている人々がいます。一方で、知らず知らずのうちに相手の思いや権利を踏みつけてしまっている人たちがいます。ただ知らないということであったり、そうした人々の悲しみを感じ取ることのできない感性や想像力が希薄なことから生じているのではないかと思います。このことに気づき、一人ひとりが人権というものを意識して生活することで、ずいぶん暮らしやすくなるのではないかと思います。今回、人権（人の生きる権利）に関する様々な現場を取材し報道し続けてきた新聞記者であり、千葉県障害者差別をなくす研究会座長を務めた野沢和弘氏を講師にお迎えし、人権について学び、“すべての人が暮らしやすいまちづくり”について多くの市民の皆さんとともに考えたいと思います。

日時 平成20年10月18日(土)

午後2時～4時(1時半開)

場所 赤羽根文化会館 文化ホール

入場料 無料 (定員300人)

申し込み 必ずしも申し込みが必要ではありませんが、できるだけ事前にお申し込みをお願いします。

(当日、会場に直接お越しいただいてもかまいません)



野沢和弘氏プロフィール

早稲田大学法学部卒業後、毎日新聞社に入社。1986年中部本社報道部(名古屋)を経て1992年に東京本社社会部に赴任し、記者として、若者の引きこもり、いじめ、薬害エイズ、障害者虐待、児童虐待などの現場を取材し、報道し続けてきました。現在は夕刊編集部長として活躍する傍ら、全日本手をつなぐ育成会理事、権利擁護委員長、千葉県障害者差別をなくす研究会座長も務めている。著書「わかりやすさの本質」、「発達障害とメディア」、「なぜ人は虐待するのか」、「もう施設には帰らない」、「薬害エイズ～奪われた未来～」、「条例のある街 障害のある人もない人も暮らしやすい時代に」など。

主催：田原人権ファンクション委員会

共催：田原市手をつなぐ育成会・田原市教育委員会

協力：地域生活支援センターcollabo
(田原市障害者相談支援強化事業)

後援：田原市・田原市社会福祉協議会・田原市人権擁護委員会

申し込み・問い合わせ

田原人権ファンクション委員会(田原市教育委員会 生涯学習課内 鈴木)

TEL: 0531-23-3531 FAX: 0531-22-3811

理不尽な理由で、辛く悲しい思いをしているのは、障害者だけではない。

認知症のお年寄り、いじめの被害者、引きこもりの青年、リストカットしている女子高生、リストラされた人、ホームレス、自殺遺児、希少難病の患者、女性、外国籍の人、被差別部落の出身者、犯罪被害者、薬害エイズの被害者、元ハンセン病患者。

差別する心は誰の中にもある。

知らないうちに相手の思いや権利を踏みつけたりしてしまうものだ。差別の多くが誤解、偏見その他の理解の不足から生じている。

人々の意識の中にある差別をなくすために。

それぞれの人間の違い、それぞれの悲しみや辛さを分かり合い、理解し合うことが必要。

2006年、障害者差別をなくすための条例が千葉県で可決された。

この条例は、差別を見つけ出し、罰則を科すものではない。自分の中にある《差別する心》を見つめ、自分の知らない世界に目を向ける《きっかけ》を与えるものである。

同時代に生きる人々が互いの「違い」を認め合い、社会のありようを見つめるためのものである。

(野沢和弘著「条例のある街」より一部抜粋)

田原市赤羽根町赤土1番地 電話 0531-45-3939



田原人権ファンクション委員会

すべての人々の人権が平等に尊重され、差別や偏見のない社会の実現を願い活動。

文部科学省の委託事業「人権教育推進のための調査研究事業」として、平成20～21年度で障害者の人権擁護のための教材となる絵本・リーフレットを作成するものである。

障害児の保護者、手をつなぐ育成会、障害福祉事業所、教育委員会に所属する13名で構成。

すべての人が暮らしやすいまちに ～野沢和弘氏講演会～ 参加申込書

必ずしも申し込みが必要ではありませんが、会場準備のためをお願いするものです。ご協力をお願いします。

氏名	連絡先 (TEL/FAX/メール)	所属団体名

個人情報に関しましては、田原人権ファンクション委員会で管理し、この講演会以外には一切使用しません。